

タカセ、病院・介護施設向け共同納品を開始

Edited By LogisticsToday On 2016/03/22

タカセは、このほど医療・介護用品の共同配送サービスを開始した。

物流課題

病院や介護施設の納品はルールが厳しく、付帯作業も多い。

品質を保つため、自社の社員や専用便で対応している。

業務波動に対応するのが難しく、固定費化している。



タカセ
まごころ
共配便

当社提案

事前調査と試走により納品先ごとのカルテをお客様と共に作成。

納品条件に合わせた配送ルート設計とドライバー教育。

納品条件に合わせた個建料金を設定し変動費化を実現。

(出所:タカセ)

同サービスは病院や介護施設に医療・介護用品を納入するメーカー、商社向けに共同配送・納品を提供するサービスで、複数のメーカーから配送・納品を請け負うことで、コストの低減を図る。

納品場所への搬入・蔵置だけでなく、搬入する商品の立会い検品、診療科別・病棟別など複数の場所への納品、商品搬入場所での棚入れ作業、専用伝票の改修管理——といったサービスに対応する。

共同配送の対象は消耗品、用具、用品など。東京23区、三多摩地区、横浜市、川崎市、神奈川県大和市、千葉県と埼玉県の一部で提供する。

医療・介護用品納品対応エリア



- ☆東京都23区及び三多摩地区（除く奥多摩町、檜原村）
- ☆神奈川県横浜市、川崎市、大和市
- ☆千葉県の一部、埼玉県の一部（詳細はお問い合わせください。）

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>
 URL to article : <http://www.logi-today.com/222464>
 Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.